

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年2月7日

上場会社名 株式会社ゲオディノス 上場取引所 大
 コード番号 4650 URL http://www.geodinos.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 光安 浩二
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 吉住 実 TEL 011-241-3951
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

百万円未満切捨て

1. 平成25年3月期第3四半期の業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	6,151	0.1	60	△4.0	△60	—	△95	—
24年3月期第3四半期	6,142	△4.0	62	△54.6	△56	—	△114	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△22.41	—
24年3月期第3四半期	△26.92	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	10,671	2,227	20.8	521.75
24年3月期	10,725	2,339	21.8	548.35

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 2,221百万円 24年3月期 2,335百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,450	1.6	250	34.4	80	247.8	50	—	11.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(参考)

前期（平成24年3月期）実績 売上高8,316百万円 営業利益186百万円 経常利益23百万円 当期純利益△103百万円

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	4,303,500株	24年3月期	4,303,500株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	45,094株	24年3月期	45,094株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	4,258,406株	24年3月期3Q	4,258,408株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、平成24年12月の政権交代により、大胆な金融政策をはじめ様々な景気対策が言及され、不透明ながらも景気回復への期待は高まっているものの、海外景気の下振れ等により、依然として低水準のまま推移しました。

このような状況のなか、当社は、一層の経営の効率化並びに様々な増収策を図り、収益力の強化に取り組んでまいりました。

その結果、第2四半期まで前年同四半期を下回っていた、売上高及び営業利益において、当第3四半期会計期間に前年同四半期を上回ったことにより、当第3四半期累計期間売上高は61億51百万円（前年同四半期比0.1%増）、同営業利益は60百万円（前年同四半期比4.0%減）となり、同経常損失は60百万円（前年同四半期は経常損失56百万円）、同四半期純損失は95百万円（前年同四半期は四半期純損失1億14百万円）となりました。

当第3四半期累計期間における営業実績をセグメント別に示すと次のとおりであります。

なお、第1四半期会計期間よりポイント使用料及びポイント引当金繰入額について表示方法の変更を行っており、組替え後の数値で前年同四半期比較を行っております。

セグメントの名称	当第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	前年同四半期比 (%)
GAME運営部 (千円)	2,378,494	△6.2
フィットネス運営部 (千円)	1,752,920	11.6
ボウリング運営部 (千円)	850,727	△4.4
カフェ運営部 (千円)	435,500	△12.3
ディノス施設運営部 (千円)	734,265	12.7
(シネマ) (千円)	(573,277)	(14.9)
(その他) (千円)	(160,988)	(5.4)
合計 (千円)	6,151,908	0.1

- (注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。
 2. ディノス施設運営部の(その他)は、土地・建物の賃貸収入等の売上であります。
 3. ディノス施設運営部のセグメント内訳は、内部管理上採用している区分によっております。

(GAME運営部)

GAME運営部につきましては、ゲオショップ内のゲームコーナーであるリトルパークの積極的な新規出店並びにUFOキャッチャーに代表されるプライズ機の景品を取れやすくすること（原価率重視からペイアウト率重視へ転換）やメダルゲームの貸出枚数を大幅に増加させる（時間消費型レジャーへの意識転換）などの施策が効果を上げ始め、第3四半期には回復傾向になりましたが、大震災後の前期4-6月身近なレジャーが比較的堅調だったことの反動で第1四半期が落ち込んだ影響などにより、売上高は23億78百万円（前年同四半期比6.2%減）となりました。

(フィットネス運営部)

フィットネス運営部につきましては、健康意識の高まりにより、利用者及び会員数が増えたこと、加圧トレーニング導入効果など会費外収入が増えたこと、女性専用の「ホットヨガスタジオ ハーティ（北九州小倉）」（平成23年12月オープン）が収益に寄与したこと、千葉県旭市の老朽化した店舗を「ゲオフィットネス旭店」（平成24年4月）として新築移転オープンした増収効果などにより、売上高は17億52百万円（同11.6%増）となりました。

(ボウリング運営部)

ボウリング運営部につきましては、生涯スポーツとしての魅力普及強化により、ボウリング教室等をシニア層向けに開催したり、また3ゲーム目以降1ゲーム100円等の企画を開催しましたが、ロンドンオリンピックの開催や今夏の猛暑などが影響し、入場者数が減少したこと、一部のピリヤード店舗を閉鎖したことなどにより、売上高は8億50百万円（同4.4%減）となりました。

(カフェ運営部)

カフェ運営部につきましては、毎月20日を「カフェの日」として、サービス価格で提供するメニューや各種割引サービスを設定し、入場者数は回復傾向にありましたが、売上の回復まで至らなかったこと、前事業年度に業界全体の規制強化の影響を受け、それが当第3四半期累計期間においても引き続き回復のテンポが鈍いことなどにより、売上高は4億35百万円（同12.3%減）となりました。

(ディノス施設運営部)

ディノス施設運営部につきましては、「シネマ」において、全スクリーンデジタル化の設備投資効果でODS（ライブ等映画以外の興行）が堅調であったこと、当社にて独占上映した「最強のふたり」、また「バイオハザードV リトリビューション」、「エヴァンゲリオン新劇場版：Q」、「ONE PIECE FILM Z」が大ヒットしたことなどにより、5億73百万円（同14.9%増）となりました。また、「その他」において、前期1店舗（平成23年6月）及び当期1店舗（平成24年11月）に事務所や飲食店として他社への賃貸物件を増やしたことにより、不動産賃貸収入が増加し、売上高は1億60百万円（同5.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期会計期間末の総資産は106億71百万円となり、前事業年度末に比べ53百万円減少しました。これは主に、現金及び預金等流動資産の増加（前期末比48百万円増）並びに繰延資産の増加（同14百万円増）がありましたが、減価償却が進んだことに伴う建物等有形固定資産の減少（同71百万円減）及び投資その他の資産の減少（同44百万円減）があったことによるものであります。

負債については、84億44百万円となり、前事業年度末に比べ58百万円増加しました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金等流動負債の減少（同57百万円減）がありましたが、社債等固定負債の増加（同1億16百万円増）があったことによるものであります。

純資産については、22億27百万円となり、前事業年度末に比べ1億12百万円減少しました。これは主に、利益剰余金の減少（同95百万円減）及びその他有価証券評価差額金の減少（同17百万円減）があったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年11月8日付「平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」にて公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	795,742	850,871
売掛金	136,667	152,873
商品及び製品	24,633	35,860
原材料及び貯蔵品	71,796	97,576
その他	216,876	156,927
貸倒引当金	△1,110	△820
流動資産合計	1,244,605	1,293,289
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,935,155	3,870,241
アミューズメント機器(純額)	485,334	437,698
土地	2,699,860	2,699,860
リース資産(純額)	544,969	593,226
その他(純額)	222,011	214,670
有形固定資産合計	7,887,330	7,815,697
無形固定資産	29,545	28,365
投資その他の資産		
差入保証金	1,185,177	1,186,450
その他	362,948	317,609
投資その他の資産合計	1,548,126	1,504,059
固定資産合計	9,465,001	9,348,122
繰延資産	15,975	30,491
資産合計	10,725,583	10,671,903
負債の部		
流動負債		
買掛金	148,506	218,613
短期借入金	100,000	50,000
1年内償還予定の社債	188,000	320,000
1年内返済予定の長期借入金	1,277,308	1,206,500
1年内返済予定の長期未払金	382,203	370,400
未払法人税等	24,818	24,339
賞与引当金	26,213	15,744
ポイント引当金	4,400	6,700
建物解体費用引当金	27,380	—
その他	1,023,810	932,920
流動負債合計	3,202,642	3,145,218
固定負債		
社債	618,000	1,078,000
長期借入金	2,947,968	2,775,365
長期未払金	938,027	725,860
資産除去債務	137,634	141,411
その他	541,551	578,923
固定負債合計	5,183,180	5,299,559
負債合計	8,385,823	8,444,778

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	948,775	948,775
資本剰余金	1,128,995	1,128,995
利益剰余金	253,922	158,483
自己株式	△20,987	△20,987
株主資本合計	2,310,705	2,215,266
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	24,410	6,551
評価・換算差額等合計	24,410	6,551
新株予約権	4,644	5,307
純資産合計	2,339,760	2,227,124
負債純資産合計	10,725,583	10,671,903

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	6,142,735	6,151,908
売上原価	1,293,489	1,329,412
売上総利益	4,849,246	4,822,495
販売費及び一般管理費		
給料	1,195,193	1,196,707
賞与引当金繰入額	19,313	15,744
退職給付費用	15,967	16,217
水道光熱費	489,759	508,216
租税公課	61,479	52,576
地代家賃	947,338	904,438
減価償却費	549,710	613,069
修繕維持費	307,908	300,118
その他	1,199,886	1,155,214
販売費及び一般管理費合計	4,786,556	4,762,303
営業利益	62,689	60,192
営業外収益		
受取利息	2,896	2,588
受取配当金	1,820	1,885
アミューズメント機器売却益	2,577	2,697
受取保険金	4,129	4,090
その他	9,727	2,393
営業外収益合計	21,151	13,654
営業外費用		
支払利息	97,557	96,311
アミューズメント機器処分損	5,236	8,163
その他	37,585	30,126
営業外費用合計	140,379	134,601
経常損失(△)	△56,537	△60,754
特別利益		
固定資産売却益	4	371
投資有価証券売却益	—	7,627
補助金収入	—	2,135
特別利益合計	4	10,134
特別損失		
固定資産売却損	1,950	154
固定資産除却損	2,997	2,729
建物解体費用引当金繰入額	27,380	—
特別損失合計	32,328	2,884
税引前四半期純損失(△)	△88,862	△53,504
法人税、住民税及び事業税	24,205	24,199
法人税等調整額	1,563	17,735
法人税等合計	25,768	41,934
四半期純損失(△)	△114,630	△95,439

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。